



# 俳句ゆめクラブ会報

2023年2月28日

第 152 号

互 選

かなり前からの予報で、気温が高い晴れの日と出ていたが正にドンピシャ、本当に暖かく一面青空の吟行となった。梅も満開で見頃、以前の此処での吟行時よりも良かったのではないだろうか。又、同じように陶器市も開かれていて大変な人出で賑やかであった。只、やむを得ぬ理由で三名が欠席となりやや寂しかったことが何とも残念であった。

## 梅田先生の句

匂ひ立つ紅梅に日の限りなく  
蒼穹へいきり立つごと辛夷の芽  
梅真白雄ごころのなほ昂ぶれる

## 梅田先生選

落城址思ひのままに春の風  
観梅の見上ぐる空の真青なる  
梅白し一重はきりり八重やさし  
老梅の気品漂ふばかりかな  
この今日の明るき光二月尽  
凜として青天を指す梅白し  
人誘ふかの如く揺れ枝垂梅  
梅が香に老いも若きも酔ふごとし  
真青なる天や紅白梅日和

梅日和賑はひの増す陶器市

八千代幸男

## 《入選》

純白の香り清らか梅の花  
しだれ梅糸のごときが垂れさがり  
青空や梅が香求め鳥来たり  
早春の花のつぎつき癒さるる

小林健一郎  
長澤輝子  
八千代幸男  
長澤輝子



紅白の梅を囲めるスマホかな  
老梅の一輪なるが咲き誇り  
梅咲くや陶器市へと誘はれ  
梅日和良きもの求め陶器市  
青空へくつきり開く梅仰ぐ  
老梅の根元愛犬戯れる  
紅白の梅の見頃や香も強し

宮島昭夫  
宮島昭夫  
岡田時雄  
瀬戸川公子  
岩松忠子  
長澤輝子  
瀬戸川公子



・今回は8名出席(欠席:浅見、鈴木、吉野)

## 兼題 「初桜」

(当番:鈴木、小林)

〔決定事項・連絡事項〕  
次回句会 2023年3月28日(火)

県活・202号室(13時より)

匂ひ立つ紅梅に日の限りなく (5票) 梅田ひろし

梅咲きて器も誘ふ陶器市 (3票) 岡田時雄

蒼穹へいきり立つごと辛夷の芽 (4票) 梅田ひろし

この今日の明るき光二月尽 (3票) 小林健一郎

人誘ふかの如く咲き枝垂梅 (3票) 小林健一郎



(小林健一郎記)

(了)